



号者局
22 責任
第 行務
発 務

平成3年3月20日
鈴木 武一
玉川第五出張所
TEL. 3700-9120

の出張所も変わります。
これからの出張所は、従来の窓口サービスに加えてお年寄りのくらしに関する事など、住民の皆さんの用事ではある限り出張所で済むようにしていきます。
また、地域の皆さん、身近に...
の自主的な活動、まちづくり活動をお手伝い（モニター）にしてまいりましたが、更に、一層の充実を図ってまいります。
〇中味の充実にあわせて名称も変わります。
例えば、第五出張所の様に出張所名称は、玉川第一、第二、第三...と決められていましたが、住民の皆さんによりわかりやすく、より親しみやすい、地区にあった名称に改めます。
玉川地域では、原則として最寄りの駅名を用いることにしました。
玉川第五出張所は、『用賀 出張所』に、玉川高島屋駅内にある分室は『二子玉川 分室』に変わります。
ご利用をお待ちしております。

昭和六十一年五月、東名入口に近い瀬田五丁目、全国でも珍らしい区民参加の「花づくり公園」がラワンランドが開園し、同時に「花づくり教室」が出来ました。毎回三十名、一時間週三回、ロケハウスの教室で講義を受け、花壇を利用した実習では、土づくり育苗、病虫害対策等を学びます。今年で第五期目になります。卒業後もグループで花づくりを続ける事ができます。園内には小川が流れ、水車も廻って区民の憩いの場にもなっています。
「花づくり教室」の受講料は無料です。
四月から変わります
私の代から年間を通して果物類を園で栽培して見せておきます。
果物類とは小松菜、春菊、シントリ菜、チンゲン菜、葉大根など。本葉五枚で出荷しています。短期間で一入前に生長しますから土造りに重点をおいて長雨でも腐らず、日照り続きでも水やりが良い畑に心がけています。そうする事により大地にしっかりとした健全な根がのび、虫がつきにくくなり、低農薬で済む事になります。地域の皆様が安心して味の良い野菜が食べられる様、家族全員がんばっています。

鳥遊び、水ぬるむ。多摩川の散歩が素敵な季節になりました。
ぜひ、兵庫島の牧水歌碑を、お訪ねください。
『多摩川の砂に たんぽぽ咲くころは われにもおもふ人の あれかし』
若き牧水がまだ早稲田の学生時代、脚氣を病み、瀬田遊園地（現在の瀬田電話局の前あたり）の民家で療養していました。その頃土地の若き乙女、内田おもとさんなる女性とのふれあいを、歌に託したものです。自然を詠んだ牧水の作風には珍らしい恋歌です。
若山牧水碑
50年 続かず
馬車公園の 花見
馬車公園 上野三丁目 森田 茂雄 記
本名の八重枝が、四月の下旬に見事な花を咲かせます。
用賀地域を中心に二十四軒の農家が、馬の糞を貴重な堆肥源として活用する「厩肥搬出組合」があります。
組合員と公営関係職員との親睦会が例年四月下旬に開かれ、最初の頃は桜の下に笠を敷き、仕事着に裸足で、自家製の「馳走」に差し入れのカストリ焼酎など、話題は専ら育苗の話。実行さが怪しくなれば、こくくに解散。今は、事務所の講堂で、花を見おろしながら宴に發じています。（森田 茂雄 記）

春はマッパリ南から、そよ風つれて来るといふ野二之山（二之海）を越え、二コく太陽に守られて庭の八千草かたほとり、ビルの谷間の水溜りお荷にせしめたソレ出番陽炎部隊のお出ましだ。田んぼもハタケも種まきだ。芽が出て葉が出て花も咲く。みのりの秋が目に見え、花の四月は始め月入社入学運動と引越し急便なき笑いピカピカづくめの一年生隣のボチがおい送り気をつけましょう。右左キミぼくみんな交通安全人生いろいろあるけれど、生命だいじにつとめれば、永い年月すぎたとき、此の世のつらい事ごとみなせか忘れて懐かしく思い出ばなしに変わります。かすむ陽炎見えぬ人ハッピー雲の見えぬ人つまらぬ世事に惑わされやる瀬流をさまよって思索なげ首するよりも、明かろくあらく朗らかに唄えば勇気がわいて来る。風邪もソチラで廻れ右健康サンもついて来る。サチ行きましよ。参りましよ。行く手大きなニコマーク。ピークひばりもいない。太陽が燃える川の道。サクラ見る人続いてる。何か良い事あるみたい...。

郷土紹介

直福寺と花まつり

新玉川線用賀駅から旧天山道を少し東の方に進むと左側に瑜伽山真福寺と刻まれた石塔と安永六年(一七五七)に建てられた古い供養塔があります。この角を左折した道が直福寺への参道です。直福寺では毎年四月八日檀家の長寿の方を招待して花まつり長寿会を開いています。四月八日はお釈迦さまの誕生日ということで、正式には仏生会とか灌仏会と言うのですが、私たちには、やはり花まつりの方が親しみ易い感じがします。当日は本堂前に花見堂が飾られ一般檀信徒の方々も誕生仏に甘茶を注いでお祝いをします。花見堂はお釈迦さまの誕生地ルンビニの花園(ヒマラヤの山麓、現在のネパール)を表わし花見堂が四本の柱だけで壁が無いのは、東西南北の四方、春夏秋冬の四季、生老病死の四苦を見渡せるからだとも言われています。又お釈迦さまが誕生した時、天から甘露の雨が降りそそいだという伝説から甘茶をかける行事となった様です。直福寺参道が未だアスファルト舗装されず砂利道であった頃、この道の両脇には桜の並木が続き、お釈迦さまの花まつりを祝う様に桜吹雪がとても美しかったとのこと。 (飯田)

いとしです。花見堂はお釈迦さまの誕生地ルンビニの花園(ヒマラヤの山麓、現在のネパール)を表わし花見堂が四本の柱だけで壁が無いのは、東西南北の四方、春夏秋冬の四季、生老病死の四苦を見渡せるからだとも言われています。又お釈迦さまが誕生した時、天から甘露の雨が降りそそいだという伝説から甘茶をかける行事となった様です。直福寺参道が未だアスファルト舗装されず砂利道であった頃、この道の両脇には桜の並木が続き、お釈迦さまの花まつりを祝う様に桜吹雪がとても美しかったとのこと。 (飯田)

文芸

やぶ椿陽のうすれゆく浅き春

路のとう土のあくびかひっそりと

用賀四丁目 飯田 芳枝

浅春の鶯鳴く声や白秋碑

芝開ゆる日を待ちかねて子ら遊ぶ

玉川台一丁目 トシ子



まな春を標してみました。

四月はスタートの春分節。

ひろばでも新しく文芸欄を設けてみましたが、如何でしょうか。

あなたもぜひ一句、お待ちしております。

お待たしております。



作図・鈴木(賢)

春

おもと 外へ出よう!
かけ 3う 陽炎 ちらちら

街路樹

